



川西中だより 11月号

山口市立川西中学校

〒754-0897 山口市嘉川4352番地2 ☎ 083-989-2209

ホームページへのアクセスは、『川西中』で検索、または右のQRコードから



「徳は身を潤す」

本校体育館ステージ向かって左側にある書の文字です。

どんな意味か知っていますか？

「徳は身を潤す」とは「人に親切にしたり、よいことをしたりすると、その徳がめぐりめぐって自分の心を豊かにしてくれる」という意味です。私はこの意味を改めて考えたときに、この言葉は今の川西中にも息づいていると感じました。小さな「徳」つまり「おもいやりや優しさ」は日常にたくさんあって、そんな「徳」を積み重ねている

人がこの川西中や川西地区にもたくさんいるということです。10月号でお知らせした本校前庭の「明窓尚志」のように先人の言葉は、川西中の伝統や校風を表しています。また先人の言葉の持つ力は大きいと実感します。



○今月は地域の行事がたくさんあり、「きずな」や「有志合唱団」が活躍しています。佐山ふるさとまつりや嘉川の文化祭では「きずな」の中学生が本当によくやってくれる！自分の仕事が終わっても機転を利かせて別の仕事までやってくれと、褒めてもらいました。

「有志合唱団」の歌声で感動した、楽しかった、来年も楽しみにしているとの声もいただきました。

これらの活動以外にも、挨拶運動、清掃ボランティア、生徒会の活動、など数え切れない活動があり、このような行動が人の気持ちを理解するきっかけにもなり、思いやりの心が生まれます。誰かのために行動したことが、他の人の笑顔となり、自分の心にも温かい灯をともしています。まさに「徳は身を潤す」なのです。自分の時間を人のために使うのはそんなに簡単なことではありませんが、「人のためになる時間を使う心」がこの学校や地域を明るくしていると感じます。

「徳は身を潤す」優しい心の循環でさらに温かい学校や地域をつくっていきたいと思います。

○さて、10月号で紹介した「明窓尚志」は山口県出身の政治家「内田重成」氏の書により建立されました。「身潤徳」は誰の書だと思えますか？

調べてみたところ、昭和37年に「杉敏介」氏が書いたもので、なんと！この方も偉大な方ということがわかりました。ここからのエピソードはまた別の号でお知らせしますが、生徒の皆さんは是非自分で調べてみてください！

そして学校にあるたくさんのお宝にもう一度目を向けてみましょう！



伝統の歌声 ホールに響く

11月11日（火）山口市市民会館で山口市中学校合同音楽会が行われました。第73回目となるこの音楽会のステージに、地域の方や保護者の方も立たれたことのある方もおられるのではないのでしょうか。今年の3年生の合唱曲は「輝きながら」と「大地讃頌」豊かな響きのある声で心をつなげて歌いました。誰一人として手を抜くことなく、音楽に真剣に向き合った姿勢と美しく重なったハーモニーが市民会館のホールを包み一瞬にして空気がかかりました。川西中素晴らしかった！感動した！涙が出た！とたくさんの方から言ってもらいました。川西中の伝統を繋いだ3年生に大拍手です。



自分でコントロールできる力を！メディアコントロール週間

11月20日（木）～11月27日（木）は川西四校のメディアコントロール週間です。携帯電話・スマートフォン・テレビ・ゲーム・インターネット・動画視聴など、便利で楽しいメディアは使い方を間違えると心や体に重大な影響を及ぼします。今回は川西中健康委員会が企画してくれました。生徒がアンケートを実施し、メディア時間が多いことで睡眠時間が十分にとれていないことなど課題を検討した上で、今回のチャレンジ内容を考えました。文化祭ではアンケート結果のまとめや動画を作成しました。動画では「ブルーライトが脳や目に与える影響」「通知が気になって勉強に集中できないこと」「家族との会話が減ってしまうこと」などをあげて「大切なのは自分で時間を決めて自分でコントロールすること！」とメッセージを伝えています。生徒自身がこのように、メディアの使い方について発信することは素晴らしいと思います。啓発だけで終わらせることなく、健康委員会のメッセージを受けて、この機会に是非ご家庭で話し合ってチャレンジしてほしいと思います。家庭でルールを決めることがメディアを上手に使いこなす力をつける第1歩になるとと思います。

※写真は動画の一部です。川西中玄関のモニターや小学校で上映予定です

